

滋賀県

地域医療支援センター情報交換会（5月11日開催）用アンケート

【設問1】

貴道府県における医師不足に関する課題、及びその課題に対する県としての取組みについてご記載ください。

新医師臨床研修制度の導入を契機に医師不足が顕在化したことから、県独自の基金を創設するとともに医師確保支援センターを設置し、平成19年より医師確保対策に取り組んでいる。また、平成22年からは地域医療再生計画に基づく医師確保に取り組んだ結果、徐々に医師数は増加している傾向にある。しかしながら、依然として地域偏在や診療科偏在の課題が残っており、引き続き医師確保に取り組んでいく必要がある。

【設問2】

設問1で記載された取組みについて、地域医療支援センターが関与し、これまで取り組んできた事業内容をご記載ください。（ポンチ絵等、参考資料を添付願います。）

※24年度から実施の5県においては、独自に取り組まれた内容があれば記載願います。

○積極的な医師の養成	
事業名	概要
専門研修医貸付事業	特定診療科（産科、小児科、麻酔科、精神科）を目指す専門研修医へ貸与
臨床研修医貸付事業	特定診療科を目指す研修医へ貸与
医学生修学資金貸付事業	特定診療科を目指す医学生へ貸与
緊急医師養成奨学金	滋賀医大（地域枠）入学者5名に対する奨学金
○医師確保システムの構築	
事業名	概要
医師不足病院支援事業	公立病院が新規就業医師に支払う支度金（貸付金）に対する補助
○魅力ある病院づくり	
事業名	概要
初期臨床研修医特定医療分野診療医師養成事業	小児科・産科の臨床研修コースにおける研修指導医の経費に対する支援

【設問3】

設問2で記載された事業における実績について、できる限り定量的にご記載ください。(あっせん等を行った医師数、作成したキャリアプログラムの数や内容など)

○積極的な医師の養成		
事業名	期間	貸与者数(累計)
専門研修医貸付事業	平成19～23年度	10名
臨床研修医貸付事業	平成19～23年度	9名
医学生修学資金貸付事業	平成19～23年度	23名
緊急医師養成奨学金	平成21～23年度	25名
○医師確保システムの構築		
事業名	実績	
医師不足病院支援事業 (H21以降の累計)	(H21)	2病院で5名
	(H22)	2病院で5名
	(H23)	1病院で3名
○魅力ある病院づくり		
事業名	実績(対象コースに在籍する臨床研修医人数)	
初期臨床研修医特定医療 分野診療医師養成事業	(H21)	4名
	(H22)	4名
	(H23)	4名

【設問4】

貴道府県の地域医療支援センターにおける、現時点での問題点(課題)があれば、ご記載ください。

滋賀県の貸付制度を活用している研修医等にいかにより多くの県内病院へ就業し定着してもらえるかが課題である。また、女性医師においては、結婚や出産を契機に臨床現場を離れざるを得ない場合もあり、離職防止や現場復帰への支援が必要である。

【設問5】

今年度以降、地域医療支援センターにおいて、どのような事業を実施される予定かご記載ください。

滋賀県(滋賀県医師キャリアサポートセンター)では、これまで県が取り組んできた医師確保支援センターの機能に加えて、医師のキャリア形成支援として、貸付制度において貸与している研修医の県内の病院への就業を促進するための支援を実施することや臨床現場を離れた女性医師の現場復帰の促進や仕事と子育て等を両立しながら働き続ける女性医師を支援するための総合的な相談窓口の設置を滋賀医大へ委託し、今年度以降取り組んでいく。

また、医師確保システムの構築の一環として、県内病院での初期臨床研修医を確保するため本年度から県内での医学生向けの病院合同説明会を開催する。

～以上～